

特定非営利活動法人 海洋音響学会

2023 年度総会資料

通常総会・表彰式

月 日 2023 年 5 月 25 日 (木)

場 所 神奈川大学みなとみらいキャンパス及びオンライン会議による

◇第 20 回通常総会 (通算第 51 回) (13 : 00 ~ 13 : 30)

次第

1. 開会

2. 議長の選任

3. 審議事項

第 1 号議案 2022 年度事業報告及び決算について (資料 1~3, 別紙 1)

第 2 号議案 2023 年度事業計画及び予算について (資料 4~5)

第 3 号議案 2023, 2024 年度役員の選任について (資料 6, 別紙 2)

第 4 号議案 名誉会員の推薦について (資料 7)

4. 議事録署名人の選任

5. 会長挨拶

6. 閉会

◇第 47 回表彰式 (13 : 30 ~ 13 : 45)

- ・ 功績賞贈呈 (別紙 3)
- ・ 論文賞贈呈 (別紙 3)
- ・ 業績賞贈呈 (別紙 3)
- ・ JAMSTEC 中西賞報告 (別紙 4)

◇名誉会員証書授与式 (13 : 45 ~ 13 : 50)

- ・ 名誉会員証書授与

2022 年度事業報告（案）

1 全般状況

(1) 会員の状況

区 分	2021 年度末	2022 年度末	備 考
名 誉 会 員	15 名	14 名	定期購読者： 4 機関（2022 年度）
終 身 会 員	9 名	9 名	
通 常 会 員	263 名	260 名	
賛 助 会 員	23 社 37 口	23 社 37 口	

(2) 第 19 回通常総会

2022 年 5 月 26 日（木）13:00～13:30

神奈川大学をホストとしたオンライン会議において会員数 288 名の内、出席者 163 名（内、オンライン会議出席 27 名、書面若しくは電磁的方法による表決者 50 名、表決委任者 59 名）にて開催した。

審議事項

議長の選任

第 1 号議案 2021 年度事業報告及び決算について

第 2 号議案 2022 年度事業計画及び予算について

議事の概要及び議決の結果

議長の選任

司会より、川崎良道氏の議長選任を諮り、全員異議なくこれを承認した。

第 1 号議案 2021 年度事業報告及び決算について

議長より、2021 年度事業報告書(案)、会計理事及び監事より 2021 年度活動計算書、2021 年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表、2021 年度特定非営利活動に係る事業会計財産目録及び 2021 年度計算書類の注記を配布し、報告したところ、全員異議なくこれを承認した。

第 2 号議案 2022 年度事業計画及び予算について

議長より、2022 年度事業計画書(案)、会計理事より 2022 年度活動予算書（案）を配布し、詳細に審議したところ、全員異議なくこれを承認した。

なお、提出書類の軽微な事項の修正については、総務理事に一任する。

(3) 第 46 回表彰式

総会に引続き、神奈川大学をホストとしたオンライン会議にて開催した。

論文賞贈呈①

以下の者に論文賞を贈呈した。

題目 海面波長を考慮した海面反射波変動特性に関する検討

受賞者（所属） 津久井 智也（IHI）

平田 慎之介（千葉大学）

蜂屋 弘之（東京工業大学）

掲載誌 海洋音響学会誌, Vol. 48, No. 2, pp. 56-67, 2021 年 4 月

論文賞贈呈②

以下の者に論文賞を贈呈した。

題目 北海道釧路沖に生息するツノナシオキアミの密度比と音速比の年変化とターゲット

ストレングスへの影響

受賞者（所属） 福田 美亮 （北海道大学）
向井 徹 （北海道大学）
澤田 浩一 （水産機構）
松裏 知彦 （水産機構）

掲載誌 海洋音響学会誌, Vol. 48, No. 1, pp. 1-14, 2021 年 1 月

JAMSTEC 中西賞

以下の者に JAMSTEC 中西賞が贈呈されたことを報告した。

件名 変動する海面での音波反射における実効的な粗さの検討

受賞者（所属） 津久井 智也 （東京工業大学）
平田 慎之助 （千葉大学）
蜂屋 弘之 （東京工業大学）

掲載誌 海洋音響学会 2020 年度研究発表会講演論文集, pp9-12, May 2021

(4) 理事会

年度中 5 回開催し、会の活動と経理の状況を把握しつつ随時所要の対策を講ずるほか、総会の決定に従い本会運営の基本に関する事項を審議決定し、各委員会との連絡を密にして事業の円滑化を図った。

(5) 執行理事会

理事会を補佐し、本学会の全体運営に関わる業務について効率的かつ十分な審議と迅速な執行を目的とし、年度中 6 回開催し、規程類の変更・制定、総務、会計に関する審議を行った。

2 事業の概況

事業内容は資料2「事業報告書」による。なお、詳細は別紙1による。

2022 年度

事業報告書 (案)

特定非営利活動法人 海洋音響学会

1 事業の成果

2022 年度は、特定非営利活動法人として次の事業を行った。

- 第 1. 海洋音響に関する学術調査研究事業として、「海中騒音の評価手法研究部会」の報告書、及びシンポジウムの準備を行った。
- 第 2. 海洋音響に関する普及啓蒙事業として、会誌の発行、研究発表会、談話会、技術講習会を開催したほかホームページを活用し情報の提供を行った。
- 第 3. 海洋音響に関する奨励事業として、前年度の優秀論文賞の表彰をしたほか、本年度の功績賞、優秀論文賞、業績賞の表彰候補選考、及び JAMSTEC 中西賞の表彰推薦候補選考を行った。
- 第 4. 海洋音響に関する企画交流促進事業として、企画運営委員会の開催、日本海洋工学会等との交流を行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 4,839 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
学術調査研究事業	「海中騒音の評価手法研究部会」の報告書及びシンポジウムの準備を行った。	随時	オンライン会議	25 人	海洋音響に関心のある者	約 30 人	0
普及啓蒙事業	会誌 186, 187, 188, 189 号を発行した。また、学会誌の電子化を実施した。	4 月 1 日 7 月 1 日 10 月 1 日 1 月 1 日	法人事務所	20 人	海洋音響に関心のある者	約 450 人	2,106
普及啓蒙事業	研究発表会を開催した。	5 月 26 日 5 月 27 日	神奈川県横浜市 オンライン会議	20 人	海洋音響に関心のある者	約 250 人	654
普及啓蒙事業	水中音響に関する書籍を増刷した。	6 月 1 日	東京都新宿区 オンライン会議	20 人	海洋音響に関心のある者	約 200 人	1,042
普及啓蒙事業	談話会を 2 回開催した。	8 月 22 日 9 月 27 日	東京都目黒区 オンライン会議	10 人	海洋音響に関心のある者	約 30 人	96
普及啓蒙事業	「機械学習と海洋音響」をテーマに技術講習会を開催した。	12 月 12 日 12 月 13 日	オンライン会議	10 人	海洋音響に関心のある者	約 50 人	394

普及啓蒙事業	ホームページ運用を通じて活動内容を紹介し、海洋音響に関する情報を提供した。	随時	法人事務所	8人	一般市民	不特定多数	251
奨励事業	海洋音響に関する優れた研究開発成果を表彰した。 次年度に海洋音響に関する研究開発の奨励、優れた研究開発成果を表彰するための委員会を開催した。	5月26日 (表彰) 11月16日 2月22日 *3月28日 (委員会)	オンライン会議 *印はメール稟議	12人	海洋音響の研究者	約10人	286
企画交流促進事業	企画運営委員会を4回開催すると共に、日本海洋工学会等関連団体との交流、行事の共催を行った。	7月1日 10月26日 12月6日 2月6日	オンライン会議	25人	海洋音響に関心のある者	不特定多数	10
企画交流促進事業	学会の50周年に向けた記念事業の検討を行った。	随時	東京都新宿区オンライン会議	10人	海洋音響に関心のある者	不特定多数	0

書式第13号（法第28条関係）

2022年度 活動計算書			
2022年4月1日から2023年3月31日まで			
特定非営利活動法人 海洋音響学会			
（単位：円）			
科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費			
通常会員受取会費	1,500,000		
賛助会員受取会費	6,660,000	8,160,000	
2 事業収益			
(1) 学術調査研究事業収益	0		
(2) 普及啓蒙事業収益	535,220		
(3) 奨励事業収益	0		
(4) 企画交流促進事業収益	0	535,220	
3 受取補助金	0		0
4 受取寄附金			0
5 その他収益			
雑収益	92,459	92,459	
経常収益計			8,787,679
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
臨時雇賃金	19,000		
人件費計	19,000		
(2) その他経費			
事務委託費	1,752,417		
消耗品費	179,949		
通信運搬費	36,797		
旅費交通費	9,164		
印刷製本費	2,415,245		
会議費	52,164		
謝金	360,400		
雑費	14,267		
その他経費計	4,820,403		
事業費計		4,839,403	
2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
事務委託費	2,566,074		
消耗品費	40,051		
通信運搬費	153,243		
旅費交通費	27,000		
印刷製本費	14,284		
会議費	270,600		
雑費	11,685		
その他経費計	3,082,937		
管理費計		3,082,937	
経常費用計			7,922,340
当期経常増減額			865,339
III 経常外収益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			865,339
法人税、住民税及び事業税			0
前期繰越正味財産額			22,282,078
次期繰越正味財産額			23,147,417

2022年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

2023年3月31日現在

特定非営利活動法人 海洋音響学会

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	17,153,079	
前払費用	222,410	
流動資産合計		17,375,489
2 固定資産		
基本財産	6,537,682	
固定資産合計		6,537,682
資産合計		23,913,171
II 負債の部		
1 流動負債		
未払費用	602,254	
前受金	151,500	
前受会費	12,000	
流動負債合計		765,754
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		765,754
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	22,282,078	
当期正味財産増加額	871,276	
正味財産合計		23,147,417
(うち基本財産)		(6,537,682)
負債及び正味財産合計		23,913,171

監査の結果、

2022年度特定非営利活動に係る事業会計財産目録			
2023年3月31日現在			
特定非営利活動法人 海洋音響学会			
（単位：円）			
科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
学会手許金	0		
普通預金（みずほ銀行高田馬場支店）	14,994,353		
普通預金（みずほ銀行高田馬場支店・事務局）	152,542		
郵便振替（ゆうちょ銀行高田馬場支店）	2,006,184		
前払費用	222,410		
流動資産合計		17,375,489	
2 固定資産			
基本財産			
定期預金（三菱UFJ信託銀行本店営業部）	6,537,682		
固定資産合計		6,537,682	
資産合計			23,913,171
II 負債の部			
1 流動負債			
未払費用	602,254		
前受金	151,500		
前受会費（次年度会費）	12,000		
流動負債合計		765,754	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			765,754
III 正味財産の部			
繰越正味財産 （うち基本財産）			23,147,417 (6,537,682)

重要な点において適正に表示しているものと認める。

2023年 4月 18日

監事 遠藤 信行 印

監事 後藤 英親 印

2022年度正味財産23,147,417円は全額次年度に繰越すこととする。

2022年度 計算書類の注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況

科 目	学術調査研究事業	普及啓蒙事業	奨励事業	企画交流促進事業	事業部門計	管理部門	合 計
I 経常収益							
1. 受取会費	0	0	0	0	0	8,160,000	8,160,000
2. 事業収益	0	535,220	0	0	535,220	0	535,220
3. 受取補助金	0	0	0	0	0	0	0
4. 受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0
5. その他収益	0	0	0	0	0	92,459	92,459
経常収益計	0	535,220	0	0	535,220	8,252,459	8,787,679
II 経常費用							
(1) 人件費							
臨時雇賃金	0	19,000	0	0	19,000	0	19,000
人件費計	0	19,000	0	0	19,000	0	19,000
(2) その他経費							
事務委託費	0	1,752,417	0	0	1,752,417	2,566,074	4,318,491
消耗品費	0	0	179,949	0	179,949	40,051	220,000
通信運搬費	0	31,187	5,610	0	36,797	153,243	190,040
旅費交通費	0	9,164	0	0	9,164	27,000	36,164
印刷製本費	0	2,415,245	0	0	2,415,245	14,284	2,429,529
会議費	0	52,164	0	0	52,164	270,600	322,764
謝金	0	260,400	100,000	0	360,400	0	360,400
雑費	0	3,832	165	10,270	14,267	11,685	25,952
その他経費計	0	4,524,409	285,724	10,270	4,820,403	3,082,937	7,903,340
経常費用計	0	4,543,409	285,724	10,270	4,839,403	3,082,937	7,922,340
当期経常増減額	0	△ 4,008,189	△ 285,724	△ 10,270	△ 4,304,183	5,169,522	865,339

3. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	6,537,570	112	0	6,537,682
合 計	6,537,570	112	0	6,537,682

2023年度 事業計画書（案）

特定非営利活動法人 海洋音響学会

1 事業実施の方針

2023年度は、長期的展望に立って、海洋音響及びこれに関連のある諸科学の一層の振興を図るために、次の方針にしたがって活動する。

- 第1. 海洋音響に関する学術調査研究事業を行う。
- 第2. 海洋音響に関する普及啓蒙事業を行う。
- 第3. 海洋音響に関する研究開発の奨励事業を行う。
- 第4. 海洋音響に関する企画交流促進事業を行う。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【7,470】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
学術調査研究事業	「研究部会」を開催する。	7月, 10月 1月, 3月	東京都 新宿区 オンライン会議	25人	海洋音響に関心のある者	約30人	100
普及啓蒙事業	会誌を定期発行する。	4月, 7月 10月, 1月	法人 事務所	20人	海洋音響に関心のある者	約450人	2,450
普及啓蒙事業	研究発表会を開催する。	5月	神奈川県 横浜市 オンライン会議	20人	海洋音響に関心のある者	約250人	1,000
普及啓蒙事業	国際化を目指し外国人講師を招き講演会を開催する。	6月	東京都 新宿区 オンライン会議	10人	海洋音響に関心のある者	約50人	200
普及啓蒙事業	シンポジウムを年2回程度, 談話会を年2回程度開催する。	5月, 8月 12月, 2月	東京都 新宿区 オンライン会議	10人	海洋音響に関心のある者	延べ約200人	1,400
普及啓蒙事業	技術講習会を開催する。	12月	東京都 新宿区 オンライン会議	10人	海洋音響に関心のある者	約50人	400

普及啓蒙事業	ホームページを運用し、活動内容を紹介し、海洋音響に関する情報を提供する。	随時	法人事務所	8人	一般市民	不特定多数	300
奨励事業	海洋音響に関する優れた研究並びに開発成果を表彰する。海洋音響に関する研究の奨励、優れた研究開発成果を表彰するための委員会を開催する。	表彰:5月 委員会: 随時	神奈川県横浜市オンライン会議	12人	海洋音響の研究者	若干名	400
企画交流促進事業	事業の企画会議の開催並びに、国際化に関する検討、日本海洋工学会等関連団体との交流、行事の共催・後援を行う。	随時	東京都新宿区オンライン会議	25人	海洋音響に関心のある者	不特定多数	220
企画交流促進事業	学会の50周年における記念事業として特集号の発刊、学会誌アーカイブデータのホームページ掲載、ホームページ英文化の検討を行う。	随時	東京都新宿区オンライン会議	10人	海洋音響に関心のある者	不特定多数	1,000

書式第9号（法第10条・第25条関係）

2023年度 活動予算書（案）			
2023年4月1日から2024年3月31日まで			
特定非営利活動法人 海洋音響学会			
（単位：円）			
科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費			
通常会員受取会費	1,560,000		
賛助会員受取会費	6,840,000	8,400,000	
2 事業収益			
(1)学術調査研究事業収益	0		
(2)普及啓蒙事業収益	760,000		
(3)奨励事業収益	0		
(4)企画交流促進事業収益	0	760,000	
3 受取補助金			0
4 受取寄附金			0
5 その他収益			
雑収益	90,000	90,000	
経常収益計			9,250,000
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
臨時雇賃金	29,000		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
人件費計	29,000		
(2)その他経費			
事務委託費	3,091,000		
消耗品費	250,000		
通信運搬費	100,000		
旅費交通費	10,000		
印刷製本費	2,230,000		
会議費	1,200,000		
謝金	550,000		
雑費	10,000		
その他経費計	7,441,000		
事業費計		7,470,000	
2 管理費			
(1)人件費			
臨時雇賃金	0		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
人件費計	0		
(2)その他経費			
事務委託費	2,600,000		
消耗品費	120,000		
通信運搬費	200,000		
旅費交通費	85,000		
印刷製本費	60,000		
会議費	300,000		
雑費	15,000		
その他経費計	3,380,000		
管理費計		3,380,000	
経常費用計			10,850,000
当期経常増減額			△ 1,600,000
III 経常外収益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			△ 1,600,000
法人税、住民税及び事業税			0
前期繰越正味財産額			23,147,417
次期繰越正味財産額			21,547,417

2023, 2024 年度役員を選任について

1. 2023, 2024 年度理事 (案)

理 事 (20 名)

赤松 友成	土屋 健伸
甘糟 和男	南利 光彦
伊藤 雅紀	松本 さゆり
江川 護	向井 徹
海老原 格	村石 幸太郎
小笠原 英子	森 和義
川崎 良道	横田 裕輔
澤田 浩一	吉江 宗生
島田 久仁彦	吉澤 真吾
志村 拓也	渡辺 好章

2. 2023, 2024 年度会長および副会長候補 (選挙結果報告)

会 長 川崎 良道
副会長 澤田 浩一
渡辺 好章

3. 2023, 2024 年度監事 (案)

監 事 遠藤 信行
蜂屋 弘之

名誉会員の推薦について

海洋音響に関する学問及び技術に顕著な功績、また本学会の発展に多くの功績のあった下記の者を名誉会員規定第 5 条に基づき名誉会員とする。

蜂屋 弘之

功績の概要

蜂屋氏は長年にわたり、海洋音波伝搬、M 系列信号を用いた計測、河川の流量計測等広く海洋音響に関わる研究に従事された。また、本学会の企画運営委員長ならびに副会長、会長を歴任されており、本学会の運営と目的達成に多くの貢献をされた。

2022 年度事業内容

○ 研究発表会

(5/26, 27 神奈川県みなとみらいキャンパス 米田吉盛記念ホール及びオンライン開催)

特別講演 音とカメラのモニタリング×機械学習
森 淳一 (神奈川県)

優秀論文発表賞の贈呈:

- ・ 題目 生物模倣音を用いた水中音響測位の基礎的研究
発表者 佐藤 絵梨 (防衛大学校)
- ・ 題目 FDTD シミュレーションを用いたエコー復元によるコウモリの周回飛行中の注意推定
発表者 長谷川 雄大 (同志社大学)

○ 談話会

第1回 (8/22 東京工業大学大岡山キャンパス 蔵前会館ロイヤルブルーホール)
(電子情報通信学会超音波研究会, 日本音響学会超音波研究委員会, IEEE UFFC Society Japan Chapter と共催)

議題: 水中音響, 超音波一般

「水中音響計測における音波伝搬特性解析」(招待講演)

蜂屋 弘之 (東京工業大学)

「日本沿岸3海域における生物模倣音を用いた水中音響測位の基礎的検討～石狩市沖, 志摩市沖および薩摩川内市沖の比較～」

佐藤 絵梨, 浦川 騰太, 黒山 喬允, 小笠原 英子,
森 和義 (防衛大学校))

「複数の線形チャープ信号と M 系列の組み合わせによる信号のドップラー耐性」

浦川 騰太, 佐藤 絵梨, 黒山 喬允, 小笠原 英子,
森 和義 (防衛大学校)

「海中設置ハイドロフォン計測データに基づく船舶放射雑音の海棲哺乳動物に与える影響の検討」

山田 知佳, 土屋 利雄, 清水 悦郎 (東京海洋大学)

「音刺激に対する魚類行動特性の検討」

井幡 光詞, 平野 仁, 栗野 智治, 湯浅 美里 (三菱電機)
安楽 和彦, 藤枝 繁 (鹿児島大学)

「光ファイバ式分布型音響センサーによる地震波データの解析」

有岡 孝祐, 中村 健太郎 (東京工業大学)

「機械的バースト加振 shear wave elastography による粘弾性媒質の周波数分散性評価」

平田 慎之介, 斎藤 慎一郎, 吉田 憲司, 山口 匡 (千葉大学)
蜂屋 弘之 (東京工業大学)

「超音波アレイビームフォーミングにおける相関や畳み込み積分の処理による新しいデコーディング～Hadamard 符号と Golay 符号の比較～」

炭 親良, 鄧 博文 (上智大学)

第2回 (9/27 オンライン開催)

議題: 表彰論文の紹介

「海面波長を考慮した海面反射波変動特性に関する検討」

津久井 智也 (IHI)

平田 慎之介 (千葉大学)

蜂屋 弘之 (東京工業大学)

「北海道釧路沖に生息するツノナシオキアミの密度比と音速比の年変化とターゲットストレングスへの影響」

福田 美亮 (北海道大学)
向井 徹 (北海道大学)
澤田 浩一 (水産機構)
松裏 知彦 (水産機構)

○ 技術講習会

第 32 回技術講習会

(12/12, 13 オンライン開催)

主題：機械学習と海洋音響

「機械学習概説」 飯山 将晃 (滋賀大学)
「機械学習による魚種判別」 松尾 行雄 (東北学院大学)
「海中サウンドスケープ解析への応用事例」 赤松 友成 (笹川平和財団)
「魚群探知機とバーチャル生簀への機械学習の応用事例」 西川 悠 (JAMSTEC)
「音響画像や海底画像への機械学習の応用事例」 寺山 慧 (横浜市立大学)

○ 部 会

海中騒音の評価手法研究部会

メール等で数回審議

報告書及びシンポジウムの準備

○ 日本海洋工学会

総会 2回 (通期第 29 回 6/24, 第 30 回 2023/3/29)
理事会 2回 (通期第 45 回 6/24, 第 46 回 2023/3/29)
運営委員会 3回 (第 194 回 6/24, 第 195 回 9/9, 第 196 回 12/14)
海洋工学パネル 1回 (2023/1/26)
※ 全てオンライン会議

○ 委員会

企画運営委員会

4回 (7/1, 10/26, 12/6, 2/6)

表彰委員会

3回 (11/16, 2/22, ※3/28)

編集委員会

8回 (4/25, 6/20, 7/25, 9/20, 10/25, 12/19, 1/25, 3/23)

ホームページ委員会

メール等で数回審議

研究発表会実行委員会

4回 (11/22, 12/23, 2/6, 2/20)

※印はメール稟議, その他は全てオンライン会議

2023, 2024 年度の評議員

1. 通常会員の評議員 (49 名) (選挙結果報告)

赤松 友成	佐藤 隆一	松本 さゆり
甘糟 和男	澤 隆雄	水谷 孝一
石前 浩蔵	澤田 浩一	水野 勝紀
今泉 智人	志村 拓也	宮城 亜紀
梅津 功	高尾 芳三	宮本 佳則
江川 護	田中 正吉	向井 徹
海老原 格	土屋 隆生	村上 泰
遠藤 信行	土屋 健伸	森 和義
太田 和彦	土屋 利雄	森下 到
小笠原 英子	陶 良	屋内 伸治
奥山 智尚	長澤 修宏	矢吹 哲一朗
尾崎 俊二	中村 義行	山口 功
越智 寛	西森 靖	横田 裕輔
加藤 健太郎	野村 英之	吉澤 真吾
川崎 良道	長谷川 浩平	渡辺 好章
後藤 英親	飛龍 志津子	
西條 献児	藤本 治	

2. 賛助会員 (入会予定含む) の評議員 (24 名) (本会に対する代表者)

(株) I H I	澤田 信一
あおみ建設 (株)	吉原 到
(株) アクアサウンド	笹倉 豊喜
NEC ネットワーク・センサ (株)	森田 雄一
(株) OKI コムエコーズ	宮地 真
沖電気工業 (株)	高嶋 昭一
海洋電子工業 (株)	永田 雅之
川崎重工業 (株)	横山 真也
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所	吉江 宗生
三波工業 (株)	細川 靖浩
ジェイ・アール・シー特機 (株)	松下 幸治
JMU ディフェンスシステムズ (株)	小倉 一郎
ジャパン マリンユナイテッド (株)	島田 久仁彦
(株) ソニック	伊藤 宏
(株) 東陽テクニカ	三野 仁裕
日本アビオニクス (株)	加幡 勝良
日本電気 (株)	村石 幸太郎
日本電気航空宇宙システム (株)	清水 忍
日本無線 (株)	森下 雅透
(株) 日立製作所	南利 光彦
古野電気 (株)	伊藤 雅紀
三菱重工業 (株)	村山 聖
三菱プレジジョン (株)	布田 浩二
横浜ゴム (株)	内藤 圭一郎

2022 年度表彰一覧表

○功績賞

- ・受賞者（所属（当時）） 片倉 景義 （桐蔭学園横浜大学客員研究員）

- ・功績の概要

片倉景義氏は、長年に亘って水中音源，超音波映像法，音響信号処理，水中映像取得技術等の幅広い研究領域において多数の研究成果を挙げられました。また本学会運営においては，副会長，表彰委員会委員長，理事等の要職を歴任され，本学会の発展に多大のご尽力を頂きました。さらに，本学会の名誉会員に就任後も，学会活動・研究活動にも積極的に参加され，後進の指導・育成にも熱心に取り組まれておられます。

このような片倉氏の学術ならびに本学会に対する多年の活動業績は，我が国の海洋音響技術の発展に顕著な功績が認められることから，本学会の功績賞受賞者としての要件を十分に満たしていると考えます。

○論文賞

- ・題目 Target Strength of Juvenile Salmon, *Oncorhynchus keta*, for Acoustic Monitoring
- ・受賞者（所属（当時）） Kouichi SAWADA （水産機構）
Tomohiko MATSUURA （水産機構）
Yoshiaki FUKUDA （北海道大学）
- ・掲載誌 海洋音響学会誌, Vol. 49, No. 2, pp. 46-67, 2022 年 4 月

○業績賞

- ・題目 GPS の使えない水中で高精度に位置を計測する超音波測位システムの開発
（推薦にかかわる仕事をした期間：2018 年～2022 年）
- ・企業名 あおみ建設株式会社
- ・担当者（所属（当時）） 吉原 到 （あおみ建設）
海老原 格 （筑波大学）
水谷 孝一 （筑波大学）

○JAMSTEC 中西賞

(日本海洋工学会より贈呈)

・題目 FDTD シミュレーションを用いたエコー復元によるコウモリの周回飛行中の注意推定

・受賞者 (所属 (当時))

長谷川 雄大	(同志社大学)
手嶋 優風	(同志社大学)
森山 涼太	(同志社大学)
源田 祥子	(同志社大学)
河村 拓	(同志社大学)
土屋 隆生	(同志社大学)
飛龍 志津子	(同志社大学)

・掲載誌 海洋音響学会 2022 年度研究発表会講演論文集, pp. 27-28, May 2022